

Application Form <The sequence of the Compulsory Figures>

課題フィガー演技申請用紙 (選手用)

(網地部分を記入)

Solo Dance in "Standard" Final

競技会名		Dance 種目	
Execution Order 演技順	Couple Number 背番号	Man リーダー名	Lady パートナー名

本用紙は、表記競技の決勝「ソロダンス」において、課題フィガーを使用する順番を申請するものです。

- ・注2に提示されたサンプルアマルガメーションを利用する場合は A. のみご回答ください。
- ・独自のコレオグラフィの中で課題フィガーを含める場合は B. についてご回答ください。

A. 使用するサンプルアマルガメーションに○をつけ、ソロダンスのいつ使用するかご記入ください。

サンプルアマルガメーションを使用 (①ソロダンスの始めから ②()小節目から)

B. (上記以外)課題フィガーを使用する順番に記入し、各課題フィガーの間に何小節入れるかご回答ください。

課題4についての選択 (a) b)

Sequence 演技順	Compulsory Figures		Music (Start)	Music bars for conjunctive figures 課題フィガー間の小節数 (4/4拍子として) (続けて踊る場合は「0」を記入)
	課題No.	Name : 課題フィガー名称		
	イントロ4小節を除く小節数 ←			() Bars (小節)
1				() Bars (小節)
2				() Bars (小節)
3				() Bars (小節)
4				() Bars (小節)
			(End)	() Bars (小節)

注: 1. 選手は予め示された課題フィガーを含めたコレオグラフィにて演技してください。

2. 課題フィガーの順番や接続など独自のコレオグラフィでの演技が望ましいですが、次のサンプルアマルガメーションを利用して結構です。 サンプルアマルガメーション: 課題を1→2→3→4(a)の順で行う。

3. 決勝を踊る選手は予め演技予定フィガー(課題フィガーの順番と接続フィガーの小節数)をこの用紙にて提出してください
<以下は新基準の審判のみ: 今回の審判結果には影響されません>

3. 当日の演技が申請用紙の予定フィガーと異なった場合、新審判基準では減点となります。

4. 課題フィガーに指定されたフィガーが複数回使われた場合は、本申請書で特定されたフィガーのみ評価されます。

Memorandum: メモ